

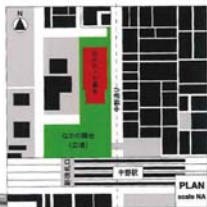
なかの舞台

中野駅のホームを客席と仮定すると、中野のランドマークである中野サンプラザが背景(書き割り)で、その周辺が舞台。そして、行き交う人々が役者となる。客席からは舞台上の日常的なアクティビティを見ることができ、人々(観客)はその魅力に引かれ、中野に引き込まれ、結果として街自体がより活質的になる。

また、この舞台を中野駅や商店街に直結する防災拠点とすることにより、人々が安心して生活、通勤ができる。



中野駅ホーム(客席)から広場(舞台)の眺め



中野駅

1階転輪道

(土地の傾斜を利用した転輪道を駅前に構築)

2階広場

(ペリメーターゲート / ストリートビューアゼンス / ジョイントダグコース / 駅前は体験広場 / 大手上置がる / 中野駅ホームと同じ高さ)



3階イベント広場

(平時は野外ライブ / 成人式 / 祭りなどのイベント / 災害時は災害拠点)

屋外スクリーン

(高活性のあるルーバー・スクリーン)

中野サンプラザ

(舞台により、ランドマーク性をより強調)

2階柱

(柱木の幹のよりに並立)

ランド

(プラットフォーム等の運動施設)

1階柱

(柱木の連続性を保つ形状 / 階段、水景に強い構造)

中野名物の居酒屋

